

平成28年6月定例会 福祉環境委員会委員長報告

25番 寺沢 さゆりでございます。

私から、本市議会定例会におきまして、福祉環境委員会に付託されました議案並びに請願の審査の結果につきまして御報告申し上げます。

福祉環境委員会に付託されました5件の議案につきましては、全て原案を可決すべきものと決定した次第であります。

次に、委員会において論議され、市当局に要望いたしました主なる事項について申し上げます。

初めに、議案第85号 平成28年度長野市一般会計補正予算のうち、歳出、第3款 民生費、第2項 児童福祉費について申し上げます。

本議案には、県道長野豊野線の道路改良工事に伴う皐月保育園の移転改築のための敷地測量業務等に要する経費が計上されております。

皐月保育園の移転先については、これまで、昭和の森公園内を検討してきましたが、昭和の森公園に近接する独立行政法人国立病院機構東長野病院からの誘致により、新たな幼保連携型認定こども園として病院の敷地内に移転するとのことであり

ます。については、移転条件について病院側と早急に調整を行い、皐月保育園の移転改築を着実に実施するよう要望いたしました。

次に、保健福祉部の所管事項について申し上げます。

新しい介護予防・日常生活支援総合事業についてであります。

市では、本年10月から新しい介護予防・日常生活支援総合事業がスタートいたします。本事業の中には、意欲のある住民ボランティア等の団体に担っていただく住民主体サービスBがありますが、サービス提供時に事故等が発生した場合のリスク管理体制を整えておく必要があります。

については、市で事故等発生時の対応マニュアルを作成し、サービス提供団体が混乱することなく取組が実施できるように対応することを要望いたしました。

次に、こども未来部の所管事項について申し上げます。

放課後子ども総合プランについてであります。

市では、本年4月に市内全54小学校区で放課後子ども総合プランを実施する体制が整ったことにより、プランを利用している人としていない人との税負担の公平性を確保する観点から、利用者負担について改めて検討するために長野市社会福祉審議会に諮問をし、また、小学生等の保護者を対象としたアンケート調査を実施しているとのことであります。

今後は、長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会において、利用者負担導入の要否などについて審議するとのことですが、その審議状況については適宜報告するよう要望いたしました。

次に、請願の審査について申し上げます。

初めに、請願第7号 「国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止」意見書提出を求める請願 及び 請願第8号 「子ども・障がい者の医療費窓口無料化」意見書提出を求める請願について申し上げます。

以上2件の請願の審査に当たっては、一括審査とし、それぞれ参考人の出席を求め、趣旨等の説明及び質疑を行いました。

まず、採択すべきものとして、「1日も早くやるべきだという意見を長野市として出していくほうがいい。なぜ繰り返し出さなければいけないか、やはり答えていただけていないから。国や県の動向を見るのではなく、市民の立場に立って動いていただきたい。」との意見が出されました。

一方、不採択とすべきものとして、「閣議決定が6月2日にされて、早急にやっぱり見直すべきだという立場で国が動き出している。県としても市町村と十分協議をして研究をしていきたい、連携をしていきたいという立場であるので、そちらを注視していくのが今の状況だ。」との意見が出されました。

以上の論議を踏まえ、それぞれ採決を行った結果、いずれの請願も賛成少数で不採択とすべきものと決定いたしました。

次に、請願第9号 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する請願について申し上げます。

本請願については、請願者の願意を酌み、全員賛成で採択すべきものと決定いたしました。

最後に、請願第10号 食品ロス削減に向けての取り組みを進める請願について申し上げます。

本請願については、請願者の願意を酌み、全員賛成で採択すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。